

常任委員会の審査報告

市議会は、9月17日に建設経済常任委員会、18日に総務常任委員会、そして19日に文教福祉常任委員会を開会し、

議案審査

議案の一部改正

【賛成多数・可決】

公的年金から特別徴収する市民税額平準化のため、税額算定方式を見直すもの。また、公社債、株式等の金融商品間における損益通算範囲の拡大課税方式を変更するもの。

【副市長】 所得格差の拡大とされていることは承知しているが、今回は少額金融商品保有者にも負担減となる。税の公平性が保てるよう国において総合的に判断されたものと考ええる。

【賛成全員・可決】 介護保険料の一部改正 地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、延滞金の割合の見直しが行われたことから、これに準じ、所要の改正を行うもの。

【賛成全員・可決】 介護保険料の滞納状況は、また、この改正で影響があるのは、

【高齢介護課長】 平成24年度末現在で359件、1247万1650円の滞納があるが、現在、延滞金を請求している

定例会初日に付託された議案5件、及び補正予算案4件の審査を行い、それぞれ所管事務調査を行いました。

人はいないので、影響はない。今後の試算においても影響が出る可能性は少ない。滞納額が少ない間に、分納誓約等早めの対応を心がけている。

【高齢介護課長】 滞納により介護サービス制限がかかるのは2名だが、内1名はまだサービスを受けていない。1名は本来の1割負担ではなく、3割負担でサービスを提供し、2割を滞納分の支払いに充てている。その他サービスを受けている人は分納誓約等により、サービスを受けている。都市公園条例の一部改正

【賛成全員・可決】 三山区画整理地区内と普賢寺公民館の隣接地を整備された公園を都市公園として追加するもの。

【副市長】 三山区画内内の公園は当初4月から使用できると聞いていたが、何故この時期になったのか。

【建設部長】 隣



三山区画整理地区内に新設された柳ヶ町さくら公園

接地との協議や工事に時間がかかったため。

【賛成全員・可決】 山手中央と草内に新設された道路について市道認定を行うもの。

【賛成全員・可決】 (仮称) 松井古川公園の整備に必要な用地の取得を行うもの。

【建設部長】 現在、吉原川の堤防の高さに合わせて計画している。

【建設部長】 松井相合公園(約4000㎡)をネクスコ西日本へ、2億1000万円余りで売却し、新公園(約7000㎡)は2億6000万円

補正予算審査

円ほどの費用で整備を計画しているが、市の支出は少なく、差額約4500万円について

【財政課長】 交付税措置のない起債を1億円以上減額できたと、市財政にとって大きなメリットがあった。今回は一次交付で、今後二次交付があるが、本市は小学校空調設備設置事業に充てる200万円程度を予定している。

【副市長】 消耗品を除く「コミュニケーション」に必要な備品とされており、明確な線引きはなく、申請時に府と協議している。

【副市長】 院外処方薬局なら置いている所が多いと思うが、薬剤師会とも協議している。

【副市長】 前期高齢者からの歳入に依存する不安定な会計と考える。予防やジェネリック活用促進により、今は単独で問題ないが、このまま高齢化が進み、医療費が右肩上がり増加すれば、広域化も視野に入れた検討が必要。

【副市長】 前期高齢者からの歳入に依存する不安定な会計と考える。予防やジェネリック活用促進により、今は単独で問題ないが、このまま高齢化が進み、医療費が右肩上がり増加すれば、広域化も視野に入れた検討が必要。

【副市長】 前期高齢者からの歳入に依存する不安定な会計と考える。予防やジェネリック活用促進により、今は単独で問題ないが、このまま高齢化が進み、医療費が右肩上がり増加すれば、広域化も視野に入れた検討が必要。

【副市長】 前期高齢者からの歳入に依存する不安定な会計と考える。予防やジェネリック活用促進により、今は単独で問題ないが、このまま高齢化が進み、医療費が右肩上がり増加すれば、広域化も視野に入れた検討が必要。

補正予算の主な内容

一般会計(補正額) 2億4360万円

民生費	
○民間保育士処遇改善事業	1166万円
○認知症総合対策事業	300万円
○介護基盤緊急整備等補助金	1000万円
土木費	
○道路整備事業	5340万円
消防費	
○消防団器具庫設置補助金	160万円
教育費	
○小学校空調設備設置事業	490万円
○中学校昼食提供事業	1151万円
○学校給食調理業務委託事業	9680万円
介護保険特別会計	
○地域包括支援センター整備事業	519万円

は松井財産区からの支出として、ほぼ了解済み。

【副市長】 前期高齢者からの歳入に依存する不安定な会計と考える。予防やジェネリック活用促進により、今は単独で問題ないが、このまま高齢化が進み、医療費が右肩上がり増加すれば、広域化も視野に入れた検討が必要。

ており、今後増えると思う。

【副市長】 前期高齢者からの歳入に依存する不安定な会計と考える。予防やジェネリック活用促進により、今は単独で問題ないが、このまま高齢化が進み、医療費が右肩上がり増加すれば、広域化も視野に入れた検討が必要。



包括支援センターの設置が予定される宝生苑

【危機管理課長】 早めの対応は大事。当初はこれまでの雨量予測はなかった。特別警報発令時は暗く、夜間避難は危険を伴うため、状況調査を優先し、夜明けと同時に避難を指示した。防災情報メールで特別警報発令を周知できなかったのに対して、今回の課題を反省し、今後には生かしたい。

【副市長】 基本的には文面で解決できる問題ではないと考える。罰則でいじめはなくなり、間に隠れることも考えられる。引き続き現場と連携して対応していきたい。

所管事務調査

台風18号による被害等

【副市長】 現在調査中だが、松井、東、草内、三山木、飯岡地区で冠水被害を確認。農作物は共済から支援がある。市としては農地の、のり面等崩壊について、災害復旧事業の対象としており、対象外の農地には公共性を考慮して復旧資材等を補助している。

【副市長】 可能な制度を最大限活用するよう努力したい。

【副市長】 可能な制度を最大限活用するよう努力したい。